

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/



立憲民主党栃木県第1区総支部
〒321-0102
宇都宮市江曾島町 1406-3
TEL080-5476-7577
https://watanabenoriyoshi.com/



渡辺 典喜

立憲カフェin宇都宮開催!



立憲民主党栃木県連が設立され、もう少しで単独になります。パートナーの皆様と懇話会交流の機会をもちたいと考えております。まだカフェという形での実施は行われていませんでした。さて来年4月には統一自治体選挙を控えています。その関係もあり、新しくパートナーズに選ばれた方から、「政治活動と選挙活動って何が違うの?」「応募したい気持ちはあるけど、何をすればいいのかわからない!」等の声を頂くことも多いです。

私、渡辺も政治活動歴1年と少しの、まだまだ経験不足の新人。そこで議院外に栃木県内で各選挙区に於いて各立憲民主党や県連の小川事務局長様をお招きし、最初の50分は「何か自分たちが選挙活動、選挙活動って実際にやるの?」を議題とします。

体験をばさみ種平は参加して下さった皆様と「選挙活動ってどんなイメージ?」「何をしたい選挙?」等をテーマに意見交換をさせて頂ければと考えております。

1回目ということもあり、少人数でアットホームな雰囲気の家裏りにしたいと思っております。気軽にご参加ください!

立憲民主党栃木県連 1区総支部
11月24日(土曜日) 14時~16時
立憲民主党栃木県連事務所(栃木県宇都宮市江曾島町1406-3)
立憲民主党パートナーズの皆様(個別の方の住所は別途です) | 当日の座席も可能なはず料金500円。
※ 費用(座席代)は電子マネーでお支払いいただけます。持ち帰りでも結構です。

お問い合わせ・お申込み
渡辺のりよし事務所 n.watanabe.tochigi@gmail.com
〒321-0102 宇都宮市江曾島町1406-3 TEL080-5476-7577 FAX028-645-4972

告知チラシもパートナーズの方の協力で作成いたしました!

11月24日に栃木県内では初となる立憲カフェイベントが渡辺のりよし総支部長主催で開催されました!「ボトムアップの政治」を掲げる政党として、立憲パートナーズの皆様とフランクに交流する立憲カフェというイベントは欠かせません。

立憲民主党が出来てパートナーズに加わり、初めて政治に関わり始めたという方も多く、来年に控えた統一自治体選挙、参議院選挙に際して何をすればいいのかわからないという声も多く頂いていました。


そこで第1回目のテーマは「選挙」。イベントの最初に立憲民主党栃木県連の小川事務局長に選挙運動と政治活動の違いなどをテーマに実践的な内容で語ってもらい、それを基にパートナーズの皆様と語りあうという形で実施しました。「公職選挙法はわかりにくいので変えてほしい」「立憲民主党には次回の選挙で現在非正規雇用に置かれている方向けの政策を打ち出してほしい」など様々な声を頂きました。また宇都宮市外からも佐野市や那須塩原市、更には愛知県から参加して下さったパートナーズの方もおり、パートナーズ制度の広がりを感じるとともに、SNSによる発信の強みも実感しました。引き続きパートナーズの皆様を対象としたイベントも開催していきます!



立憲民主党栃木県連の事務所で開催したため、スペースが限られており、会場はぎゅうぎゅう詰めに。

渡辺のりよし

1983年宇都宮市生まれ。陽南中学校、宇都宮高校、早稲田大学政治経済学部卒業。在ジョージア・在タジキスタンの日本国大使館や東日本大震災の被災地での勤務、松下政経塾を経て、立憲民主党栃木県第1区総支部長に就任。



佐藤栄 栃木県議会議員インタビュー

今期限りでの勇退を表明されている佐藤栄栃木県議会議員（立憲民主党栃木県連副代表）への独占インタビューをお届けします。

—立憲民主党及び栃木県第1区総支部に期待することを聞かせてください。

安倍政権に真正面から対峙できるのは立憲民主党しかいないので、それを前面に押し出してほしい。現政権では少子高齢化に歯止めが効かないのは明らかだ。独裁的な在り方を止めなければならない。そのために参院選の枠組みを作りが重要だと思う。参議院選挙後、政治は流動化するのでは。その前に控えた4月の統一自治体選挙も連動している。渡辺総支部長には先頭に立ち、統一自治体選挙を引っ張ってほしい。それが将来の衆議院選挙にもつながる。

—32年の議員生活の中で一番思い出に残っていることは？

民主党が政権を獲得した3年3カ月が思い出として残っている。政権政党で県連所属の国会議員の数は多かったが、地方議員の数は少なかった。その中で栃木県全体の予算要望等をやることの難しさを感じたが、いい経験をした。

—栃木県政の課題は？

福田富一栃木県知事は4期目で経験もあり、県政に大きな間違いはない。ただ同時に安全運転になっていてドラスティックな変化がない。職員も安全運転志向になってきてしまっていると感じる。地方創生の厳しい現状をみると、安定志向を超えたドラスティックな変化が必要ではないかとも感じる。TPP 関連で農業に打撃を受けると予想されることから、それにどう対応するかも喫緊の課題だ。林業の持続性も焦点になってくるだろう。グローバル化の中で栃木の産業がどこまで生きていけるか。新しい視点で物事を考えるべきだ。



立憲とちぎパーティー

12月2日に立憲とちぎパーティーが約500名のお客様を迎え開催されました。1万円の会費にも関わらず、多くの皆様にご参加いただいたことに栃木県第1区総支部としても感謝申し上げます。党本部から海江田万里最高顧問と福山哲郎幹事長がゲストとして参加。立憲民主党の目指す方向性や、来年の統一自治体選挙、参議院選挙に向けた意気込み等が語られました。今までの政党のパーティーとは違った演出にしようという観点から、「立憲とっぴー」というマスコットキャラを使った演出や、会場内での政策パネルの提示など、新しい試みがなされました。想定参加者数の把握等反省点はありますが、新しいベンチャー政党でもある立憲民主党は、政治の世界で新しい試みを続けてまいります。



福山哲郎幹事長（左）と渡辺のりよし総支部長（右）

立憲民主党栃木1区総支部は現在、活動のお手伝いやポスター掲示にご協力頂ける方を募集しております。詳しくは、渡辺のりよし事務所（n.watanabe.tochigi@gmail.com） or (https://twitter.com/n_watanabe214) までお問い合わせください。